

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 横手市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
つばめ自動車(株) (資)浅舞タクシー (同)沼館タクシー さとみタクシー(有) (資)大森タクシー (有)ユニオン交通 よこてタクシー(株)	横手デマンド交通	平成30年4月から事業実施している、運転免許証自主返納者に対する公共交通利用回数券を交付する際にパンフレットを同封し、積極的な活用を促す。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B ・利用者数を目標46,800人/年としていたところ、実績37,699人/年であり、目標を9,101人下回った。【80.6%】 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により外出が極端に控えられ、4月、5月の利用者数がそれぞれ前年同月比75%・85%となった。 ・運転免許証を持たない高齢者の自然減により利用者が減少した。	・現在実施中事業である運転免許証自主返納者に対する公共交通利用回数券交付の際にパンフレットを同封する取り組みを継続し、新規利用者の獲得・積極的な活用を促す。
羽後交通(株)	横手市循環バス 横手バスターミナル～平鹿総合病院～イオンスーパーセンター～平鹿総合病院～横手バスターミナル(一週29.1km)	チラシやホームページ等による周知活動を実施した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C ・利用者数を目標50,400人/年としていたところ、実績38,757人/年であり、目標を11,643人下回った。【76.9%】 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により外出が極端に控えられ、4月、5月の利用者数がそれぞれ前年同月比63%・76%となった。	・現在実施中事業である運転免許証自主返納者に対する公共交通利用回数券交付の際にパンフレットを同封する取り組みや、ホームページ等による周知活動を継続する。

羽後交通(株)	朝日が丘上台線3 横手バスターミナル～上台(7.1km) 上台～横手バスターミナル(7.4km)	路線バスの時刻表を全戸配布し、利用者への周知に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施された。	B	・利用者数を目標11,000人/年としていたところ、実績10,042人/年であり、目標を958人下回った。【91.3%】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、3月以降通勤・通学・通院・買い物での路線バス利用が激減し、すべての系統で目標の達成までは至らなかった。</li> <li>・コロナ禍での利用実態を事業者とともに注視し、実態に即した目標設定を行う。</li> <li>・路線バスの時刻表の全戸配布を継続することで、運転免許証自主返納者のような新規需要に向けて利用促進を図っていく。</li> <li>・運転免許証の自主返納者等を対象とした割安な定期券について周知し、新規利用者の獲得・積極的な活用を促す。</li> </ul>
	朝日が丘上台線9 横手駅東口～横手バスターミナル(14.7km)				C	・利用者数を目標6,700人/年としていたところ、実績3,803人/年であり、目標を2,897人下回った。【56.8%】	
	朝日が丘上台線10 横手駅東口～横手バスターミナル(14.1km)				B	・利用者数を目標5,500人/年としていたところ、実績5,089人/年であり、目標を411人下回った。【92.5%】	
	大森線10 横手バスターミナル～大森病院前(17.9km) 大森病院前～横手バスターミナル(17.7km)				B	・利用者数を目標15,000人/年としていたところ、実績12,251人/年であり、目標を2,749人下回った。【81.7%】	
	山内線4 横手駅東口～三又温泉入口(23.9km)				C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数を目標10,600人/年としていたところ、実績3,979人/年であり、目標を6,621人下回った。【37.5%】</li> <li>・当該路線は平成31年4月1日ダイヤ改正により平日7便(休日5便)運行していたものが平日5便(休日4便)運行へと減便になっている。</li> </ul>	
	山内線9 三又温泉入口～横手駅東口(23.2km)				C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数を目標11,000人/年としていたところ、実績5,868人/年であり、目標を5,132人下回った。【53.3%】</li> <li>・当該路線は平成31年4月1日ダイヤ改正により平日7便(休日5便)運行していたものが平日5便(休日3便)運行へと減便になっている。</li> </ul>	

<p>横手本荘線2 横手バスターミナル～坂の下(24.9 km) 坂の下～横手バスターミナル(24.4 km)</p>			<p>B ・利用者数を目標10,600人/年としていたところ、実績9,042人/年であり、目標を1,558人下回った。【85.3%】</p>
<p>横手本荘線13 坂の下～横手バスターミナル(27.7 km)</p>			<p>C ・利用者数を目標4,200人/年としていたところ、実績3,336人/年であり、目標を864人下回った。【79.4%】</p>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名：	横手市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>横手市は、東側が奥羽山脈、西側は出羽丘陵に囲まれた横手盆地の中央部に位置東西は45km、南北は35km、総面積693.04km<sup>2</sup>という広大な面積を有している。</p> <p>市内公共交通は、鉄道2路線、路線バス15路線、コミュニティバス3路線、タクシー会社8社により構成されている。鉄道については、南北に奥羽本線、東方向に北上線が運行し、秋田市や大仙市、湯沢市、北上市などと結ばれている。路線バスは、横手駅に隣接した横手バスターミナルを基点とし、放射状に運行されている。</p> <p>現在、自家用車の普及や人口減少などの要因により公共交通の利用者は激減している。特に乗合バスは、市内完結路線のほとんどが赤字路線であり、路線維持のため市では毎年多額の財政支出を行っている。また、今後の更なる路線改廃も懸念されており、将来を見据えた公共交通体系への見直しが求められている。</p> <p>市では、平成23年3月に「横手市地域公共交通総合連携計画」を策定し、「安心して住みよいまちづくり」に向けて、高齢化に対応したモビリティの確保、将来にわたり持続可能な公共交通システムの構築を目指し、デマンド型乗合タクシーである「横手デマンド交通」、「循環バス」の運行を平成25年10月から開始したところである。</p> <p>また、平成31年3月には、「横手市総合計画」「都市計画マスタープラン」の理念、方針の実現を図るため、「横手市地域公共交通網形成計画」を策定したところであり、基本方針として「移動手段の確保」、「公共交通の利用が不便なエリアの解消」、「まちづくり戦略との連携」、「情報発信と利用促進」を掲げ、市の公共交通を取り巻く様々な課題を整理し、持続可能な地域公共交通の在り方について恒常的に検討することで、市民の皆様や当市を訪れる全ての皆様の移動手段の確保、快適な移動環境の創出を図ることを目指している。</p>